

Governor's

ガバナー月信 *Monthly Letter*

2011.3.1

vol. 9



国際ロータリー第**2690**地区 (鳥取・島根・岡山)



春の吉備路 撮影/小林和義 会員

CONTENTS

【印刷物】

- 2 ガバナーメッセージ
- 3 「国際協議会を体験して」
- 4・5 ガバナー公式訪問だより
- 5 2011学年度 米山記念奨学生選考会報告
- 6 第10・11グループ IM 報告
- 7 地区だより ① 新入会員ご紹介
ポール・ハリス・フェロー
ポリオ・プラスへの寄付
米山功労者
訃報
- 8 出席報告

続きはホームページから
PDF ファイル版をダウンロードできます。

【PDF】版のダウンロードはこちらから

http://www.rid2690.org/index.cgi?c=month_letter-1

- 9 地区だより ② クラブ寄付・個人寄付
- 10~12 「ガバナーはどう決まるの?」

【例会場・例会時間の変更のお知らせ】

- ◆ 児島東RC 例会場の変更
1月から 鷺羽ハイランドホテル
- ◆ 岡山南RC 例会場の変更
3月1日から 岡山全日空ホテル
- ◆ 倉敷中央RC 例会時間の変更
3月7日から 19:00~20:00



2010-2011年度 国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

2010-2011年度 ガバナー
小林完治

ガバナーメッセージ



識字率向上が意味するもの

ガバナー
小林 完治

1986年RI理事会は、識字率向上を強調プログラムとし、1997年、3月を識字率向上月間と決め、この月間中には、読み書き、計算の出来ない人達を援助するために、全世界のRC、IAC、RAC、RCCなど既存のプログラムを通して、識字率向上にとりくむよう奨励しています。

識字（Literacy）とは、文字を読み書きできる、の意ですが、RIが全世界の識字率向上を目指しているのは、もっと深い、重要な意味があるのです。

「基本的教育と識字率向上」はロータリー財団・未来の夢計画の6つの重点分野の一つとされています。

ユネスコのデータ（2008年）によれば、世界には母国語で基本的な読み書き計算の出来ない人が8億人、その2／3が女性で、3／4が途上国に住み、更にそのうちの約70%が、アジア太平洋地域であるとされています。

全世界に貧困の問題があり、貧困により、さまざまな問題が発生しています。貧困は病気、飢餓、汚染の原因であり、更に、犯罪、政情不安、テロ行為まで引き起こします。

途上地域での識字率向上することにより、「貧困の連鎖」を断ち切り、保健衛生面での向上、社会的格差の減少など、人道的側面からの改善が期待できます。

一方近年になって、先進地域でも、新しく教育的・識字率向上が叫ばれるようになりました。

我が国では、幼いころから「読み、書き、そろばん」という教育が行き届いているためか、「識字率向上？」、

識字とは？」とあまり身近な問題として考える機会が少なく、関心が薄いとされて来ました。けれども、戦時中などの諸条件で、十分な義務教育を受けられなかった人達が、19万人にもものぼると言われており、そのため今でも夜間学校で読み書きを学んでいる高齢者もおられます。また、勉学や就労のため来日している外国人への日本語教育も、ゆるがせには出来ません。識字には3つの定義があります。

- 1) 基本的識字；アイウエオなどきちんと読める。
- 2) 機能的識字；よく考える能力を得て読み書き、コミュニケーションができる。文字から情報を得て判断力ある行動ができる。
- 3) コンピューター識字；ITによる情報を生活に使える。

人は、識字により生涯学習教育を受け、さまざまな情報を理解し、成長することができます。

識字は生きる為の大事な道具なのです。

さらに、ITの情報社会では、所謂、デジタル・ディバイド（*Digital Divide）による、IT利用者と非利用者との間では情報伝達ができず、両者の情報量の差は、知識格差を産み、価値観の差異となっています。人は時代の変化を身に付けて成長しますから、こうした、デイス・コミュニケーションは、近年問題となっている、世代間のギャップの原因となってしまいます。また、いわゆる、「無縁社会」の一因とも考えられ、ここにも、識字率向上の新しい検討課題があります。

国際協議会を体験して

ガバナー・エレクト 伊藤 文利

昨年12月19日、倉吉シティホテルで私達夫婦の国際協議会壮行会を盛大に開催して頂き、誠に有難うございました。師走のお忙しい中を多くのパスト・ガバナー初め地区内各地から多数のロータリアンがお祝いと激励に駆けつけて下さいまして、本当に心強く、有難く、皆様のご友情を身にしみて感じました。

1月14日真冬で大雪、冷凍庫の様な倉吉を出発し、2日後に真夏の様なサンディエゴに到着しました。今年の当地の天候は滞在中全く南国そのもので、毎日22度以上と暑いくらい、とても快適な日々を送りました。

到着早々、渡辺好政元RI理事を先頭に日本人RI役員皆様が我々一行を出迎えて下さり大変恐縮しました。その中には我々に毎日講義する研修リーダー3人も居られましたが、先のGETS以来既知の間柄故に、あまり緊張することもなく過ごすことができました。

さて、研修は翌日の17日(月)から始まりましたが、前もって配付されたプログラム、席次表、出席者顔写真集、必須のIDカード等一式を常に携帯し、初日の本会議場に入りました。指定された席に座ると、各国の入場行進がはじまり、日本の順番になって掲げられた日の丸を見て、改めて感激しました。

いよいよ次期RI会長カルヤン・バネルジー氏の演説が始まります。すると一瞬にして演壇背景がインドの風景とガンジーのシルエットに変わるとともに、彼自身は次年度制服のジャケットに着かえていました。その間の演出の見事さには、まさに驚きと感服そのものでした。そして彼は演説を進め、**ロータリーは世界平和に貢献しなければならない、そのために必要な事は先ず、一人ひとりのロータリアンは己の『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』**と次期RIテー

マを発表しました。そしてロータリアンは次の3点を実行しましょう。「**1つは家族愛を持ち、2つは良い事は継続し、3つは変化には柔軟に対応しよう**」と喝破しました。演説終了後鳴りやまぬ拍手と共に私自身終生忘れ得ぬ感動を覚え、この国際協議会に参加させてもらった事を衷心より感謝した次第であります。

午前中の本会議が終わると分科会となり、ここで34人の日本人エレクトは2班に分かれ、同じ事を異なる講師に教わりました。そして、毎日受講生は入れ替わり、講師も交代するパターンを繰り返し、90分1コマの研修を合計11コマ受けたこととなります。内容は地区ガバナーとして「如何に地区運営」し、「如何に地区内クラブを育成」し、「地区内会員を如何に鼓舞しながら奉仕活動に取り組んでもらうか」等を懇切丁寧に教えて頂きました。国際協議会で洗脳云々とよく言われますが、私もやはり「多少洗脳されたかなー」という思いがあります。

さて、毎日の暮しですが、私も家内もそんなに不便は感じず、3食とも皆美味しく頂き、特に南国特有の果物には満喫し、大変幸せでした。唯、ホテルに缶詰状態でしたので、どこにも出かけられず、折角、サンディエゴに来たのに残念と思っていたところ、渡辺元RI理事が市内のすし店に連れて行って下さり、美味しい米国すしを賞味させてもらいました。渡辺好政元RI理事有難うございました。

最後に一言、本会議各演者には人を惹きつける見事な雄弁さがあり、惚れ惚れとしました。これだけでも十分に来た甲斐があったと思います。第2690地区の皆さんに深く感謝します。ありがとうございました。



カルヤン・バネルジー次期RI会長ご夫妻と



渡辺好政元RI理事と共に

ガバナー公式訪問だより

10/5 火

隠岐西郷ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・嘉村随行幹事



地区大会を終えた翌朝、新幹線で新大阪着、伊丹空港を経て隠岐空港に到着。第2690地区においては他に例のない離島の隠岐西郷RCを訪問。

当クラブは、1965年4月松江RCをスポンサークラブとして創立された歴史あるクラブであります。

折角の機会でありますので、会長、幹事懇談会には正副2名ずつご出席を頂き、様々な角度からのお話を交して参りました。

野村会長からは「若い会員の勧誘」「地域と考えたクラブのあり方」「身の丈にあったクラブ作り」「人材の育成」などについてお考えを承りました。

小林ガバナーからは「若い会員の育成」「ビジョン委員会の設置」「地域との関係重視」などについてアドバイスがありました。

会員は減少の傾向にありますが、過去には分区分代理、ガバナー補佐を出されておられ、今後共、地域に根ざしたクラブであり続けて頂きたいと祈念致しております。

10/7 木

新見ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・藤原随行幹事



新見RCは、1973年9月、倉敷南RCをスポンサークラブとして創立。今年度創立38年をお迎えになる伝統あるクラブです。米国ニューパルツRCとの姉妹縁組や、カンボジア圓山小学校の支援など国際奉仕活動も積極的に行っておられます。特に、GSE・青少年交換プログラムの活動には目を見張るものがあります。地元の岡山県共生高等学校にインターアクトクラブを立ち上げるなど地域に根ざした活動も盛んに行っておられます。通算46回を迎える「新見中学校弁論大会」、「新見

RCふるさと学習奨励助成金の贈呈」、共生高校IAC生徒との植樹「ロータリー憩いの森植樹・整地・草刈」、10回目を迎える「新見RC杯少年ソフトボール大会」、環境を考える「エコキッズくらぶ」事業等、「地域に根ざし、すすんで参加する喜び」を味わうことを目指して活動を続けておられます。ロータリー表彰も「RI会長賞」8回、「地区ガバナー賞」4回など多くを授賞され、ロータリーに対する貢献度は大変すばらしいものがあります。今後も他のクラブの模範となる地域活動を続けられるものと期待いたしております。

10/12 火

倉敷瀬戸内ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・河合随行幹事



倉敷瀬戸内RCは、会員数37名で、そのうち会長経験者が凡そ半数と、行動力のある若い会員が凡そ半数と、うまくミックスされた和やかなクラブであります。本年度こそ「RI会長賞」を獲得しようと、会長をはじめ会員の皆さんが積極的に取り組んでおられます。

主な活動としては、25年に及ぶ「市民健康講座」や、「桜の苗木の植樹」を実施され、また「ロータリーカード」についても積極的な所持に努められ、会員数を5枚も上回る実績であります。

韓国大田韓南RCとの姉妹クラブ交流は、成果についてはまだのようですが、山形東RCとの友好クラブ交流は、本年度も多くの会員が訪問されることで素晴らしいと感じました。

ガバナーからは「長期計画を立てるには、ビジョン委員会をつくるのが好ましいこと、また韓国大田韓南RCとの交流については、松江東RCに相談してみてください。」等アドバイスがありました。

最後に、地区大会に多くの会員のご参加を頂いたことを、心からお礼申し上げます。

10/13 水

岡山旭川ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・安永随行幹事



1991年2月岡山中央RCをスポンサークラブとして創立。アークホテル岡山を例会場としており、今年度創立20周年を迎えられます。

会員数は、ガバナー公式訪問時29名で、平均年齢52.5歳という若さあふれるクラブであります。

今年度は、「夢計画」が打ち出されたこともあり、中期的にクラブ一体となって5年間で毎年5人ずつ増強し、創立当初の55人を再現しようと「555プロジェクト」をスタートさ

せておられます。

また、「職業奉仕とは何か」を各自学習し、「奉仕の意味するもの、そして自分に出来るその実践とは」等、各自の職業奉仕についての考えをレポートとして作成し発表するなど、奉仕について積極的に取り組みがなされております。

そのことで、会員全体がロータリーを共有できるようになり、さらには親睦にも繋がっていることでもありました。

ガバナー公式訪問だより

10/15 金

備前ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・中地随行幹事



1972年6月、岡山東RCをスポンサークラブとして創立。

今年創立40周年をお迎えになります。当クラブでは、観光の町として、観光客誘致の一助にと2007-2008年度から5年計画で地区資金を活用した「赤穂線備前東片上駅前広場整備事業（仮称：ロータリーの広場）」を、奉仕プロジェクト委員会を中心に会員全員により推進しておられます。

また、毎年の行事として、閑谷学校周辺の

清掃活動に取り組んでおられ、活気あふれるクラブであります。会員数は41名、うち3名の女性会員により、明るく楽しい例会が進行されていることが、非常に印象的でした。

兵庫県との県境に近い、岡山県の東端に位置した備前市にあり、地域に根ざした様々な取り組みに努力しておられる様子を伺って、今後とも会員の皆様の固い絆によって、クラブがますます発展されますことを期待しております。

10/18 月

児島東ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・中地随行幹事



1973年10月、児島RCをスポンサークラブとして22名の会員によって創立されました。

本年で創立37年を迎えられましたが、現在は26名の会員によりクラブが運営されております。例会場は、眼下に瀬戸大橋、瀬戸内海、周辺の島々、さらには四国まで望める素晴らしい展望のせとうち児島ホテルであります。

今年度は、クラブ方針「親睦の輪を拓げよう」のもと、岡会長を中心に、ソフトテニス大会を実施され、また、社会奉仕の事業として、

地域の中学生と協働して、王子が岳などの清掃活動に取り組まれております。

地域に根ざした取り組み等、非常に活気あるクラブと感じました。

一方、例会における出席率が非常に高く、これは会員一人ひとりの意識の高さと、結束の強さによるものであると感じました。

今後、40周年にむけ、更に地域を基盤とした取り組みに力を傾注され、地域の発展に貢献していかれますようお願いしております。

2011学年度 米山記念奨学生選考会報告

地区米山記念奨学会 委員長 伏見 正

2011学年度米山記念奨学生の選考会が、1月10日、アークホテル岡山において開催されました。2011学年度申請者は、中国人が1番多く27名、次いで韓国人4名、モンゴル人3名、ネパール、カンボジア、ミャンマー、バングラデッシュから各1名の、計38名でした。

当日は、小林G、森米山記念奨学会理事、伊藤GE、前島地区代表幹事、井戸垣次期地区代表幹事、高木次期地区米山記念奨学会委員長と、学校関係者として、森美智子会員（岡山備南RC）、小林照尚会員（岡山西南RC）と私の計9名が、選考委員として面接に当たりました。面接では、申請者の人間性・社会性や、異文化理解、日本語コミュニケーション能力などをポイントに、米山記念奨学生としてふさわしいかどうかを審査致しました。

面接に引き続き行われた選考会議では、申請者の国籍や、大学の県別バランス、継続奨学生の地域等を考慮しながら、17名の優秀な学生を選考いたしました。

2011学年度の奨学生は、新規17名と葛尾ガバナー年度からの継続者4名を含めた21名であります。新規奨学生として選ばれた学生は、5月14日の「米山記念奨学生オリエンテーション」に参加していただき、世話クラブ・カウンセラー制度の下、価値ある奨学生生活を過ごして頂けるよう期待しております。

最後に、選考委員の皆様には、事前に38名にも及ぶ膨大な量の小論文や、研究・計画書を採点いただき、当日は、朝早くから丸一日掛けて、奨学生の選考にご尽力いただきました。心より御礼申し上げます。



第10・第11グループIM報告

第11グループIM実行委員長 吉井孝行(岡山城RC)

第10・第11グループのインターシティー・ミーティングは2011年1月30日(日)にガバナー小林完治様、地区代表幹事前島智征様ご臨席の下、岡山コンベンションセンターおよび岡山全日空ホテルにおいて開催されました。ホストは第10Gの貴田茂ガバナー補佐と岡山南RC(浅田昭治実行委員長)、そして第11Gの佐々木浩史ガバナー補佐と岡山城RCが務めました。

今回のIMは“安・短・密・楽”を開催のコンセプトとして提唱された岡山南RCを中心に岡山城RCが後方支援する実施体制で臨み、無事に終えることができました。ここに参加者各位に感謝申し上げるとともに開催内容の一端をご紹介します、報告に代えさせていただきます。

1. 登録と出席(“安”：登録料を大幅に引き下げました)

登録料を5,000円/人とし、第10・第11G12クラブのロータリアン591人全員の登録をいただき、本会議358人および懇親会335人の出席をいただきました。

2. 本会議(“短・密”：時間の短縮を図るとともに、内容を密にしました)

14時～16時40分と所要時間を短縮する一方で、『ロータリー情報を学び、親睦を図る会合』であるIMの目的を踏まえ、知識と経験の豊かなパスト・ガバナーを講師としてお招きし、内容が濃く密な“ロータリー情報について学ぶ場”としました。

①第2760地区PG江崎柳節様(小牧RC)【演題：変わりつつあるロータリー】

『世界的には微増傾向にあるロータリー・クラブの会員数も、日本では過去10年で30%減少するという状況にある。』これを踏まえ、『会員維持の為のケアと、クラブ全体が支える増強』そして『変えてはならないロータリーの理念・哲学と、世界・時代の変化に応じて変化・進歩させていくべき奉仕の実践』の大切さを説かれました。



②第2710地区PG川妻二郎様(広島南RC)【演題：無題】

『関心の高い価値あるプロジェクトに関わり、存在感と友情の雰囲気醸し出し、良いプログラムの下に関心度の高い例会を持ち、会員を育てていく』『リーダーシップとはモチベーションを高めることであり、これこそがクラブを成功に導く重要な要素なのです』と説かれ、リーダーシップ育成の具体的な方法(RLI)も提示されました。

③第2690地区PG延原 正様(岡山南RC)【演題：ロータリーあれこれ】

江崎PG、川妻PG、そして延原PGによる三者の座談会として進められました。この中で延原PGは、『会員は加齢や病気によって必然的に減少する。従って会員増強と言うより会員補強と考えるべきである。そして、この会員補強は地道に努力するしかない』さらに『ロータリーにおいて教育という言葉は禁句であり、それは皆で一緒に勉強するというだけでしかない』とも説かれました。

最後に小林ガバナーの講評の後、次年度の第10Gガバナー補佐 大塚雅司様(岡山北RC)と、第11Gガバナー補佐 井上 元様(岡山岡南RC)が紹介され閉会となりました。

今回の本会議が、変わりゆく現代～将来に向かい、“我々がロータリアンとして如何に行動すべきかを考える為の意義ある場”となったことは間違いありません。感謝です。

3. 懇親会(“楽”：勉強の後は、食を楽しみ、友好を深めていただきました)

今回の懇親会では、せんべい汁・とりもつ煮込み・ホルモン焼うどんetc、今話題のB級グルメを中心にした、心とお腹の温まる料理と、ゆうき&ジュリアンローズによるカントリー&ウェスタンの演奏で、楽しく友好を深めていただきました。

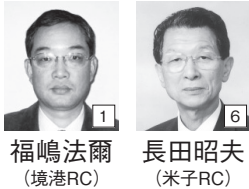
地区だより(2011年1月)①

◎ 新会員ご紹介



◎ ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



ポリオ・プラスへの寄付



※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

◎ 米山記念奨学会への寄付

米 山 功 労 者



※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



大西威貴 会員 (岡山RC)
2011年1月26日ご逝去 (享年66歳)
1987年3月4日入会
三洋ホールディングス株式会社 代表取締役会長
石油製品販売
1998年度 雑誌委員長、各種委員会委員歴任



坂本忠次 会員 (岡山西RC)
2011年1月9日ご逝去 (享年77歳)
1990年4月9日入会
関西福祉大学 大学院研究科長 経済学研究
2007-08年度 第47代会長、
P.H.F.、第3回米山功労者

出席報告(2011年1月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	1月末	内女性 会 員	増減	
第1グループ	智 頭	69.44	58.33	3	15	12	0	-3
	倉 吉	99.39	75.76	3	55	55	2	0
	倉吉中央	75.00	66.30	4	21	23	1	2
	倉吉東	93.44	62.49	4	43	44	2	1
	鳥 取	100.00	79.45	4	57	56	2	-1
	鳥取中央	73.72	72.22	3	46	45	0	-1
	鳥取北	83.11	79.22	3	54	55	7	1
	鳥取西	85.65	76.39	4	57	55	0	-2
計(8)	84.97	71.27		348	345	14	-3	
第2グループ	境 港	68.99	58.92	3	44	43	0	-1
	米 子	86.77	64.15	4	67	68	2	1
	米子中央	83.33	79.17	3	31	32	1	1
	米子東	77.47	66.21	3	74	76	5	2
	米子南	93.33	68.89	3	50	47	1	-3
計(5)	81.98	67.47		266	266	9	0	
第3グループ	松 江	87.51	69.12	4	69	71	0	2
	松江東	87.55	78.85	4	58	58	0	0
	松江南	87.66	77.86	3	69	70	4	1
	松江しんじ湖	95.24	79.89	3	60	63	8	3
	隠岐西郷	81.70	59.79	3	30	29	0	-1
計(5)	87.93	73.10		286	291	12	5	
第4グループ	平 田	88.90	85.20	4	37	37	1	0
	出 雲	76.28	75.00	3	53	54	1	1
	出雲中央	79.49	69.87	3	48	52	3	4
	出雲南	96.93	85.53	4	59	58	6	-1
	大 社	82.86	67.62	3	43	43	0	0
計(5)	84.89	76.64		240	244	11	4	
第5グループ	江 津	71.60	70.37	3	26	27	0	1
	浜 田	94.37	77.75	4	55	56	0	1
	益 田	99.00	89.00	4	26	25	3	-1
	益田西	79.55	64.39	4	32	33	1	1
	大 田	83.46	79.46	4	27	27	3	0
計(5)	85.60	76.19		166	168	7	2	
第6グループ	井 原	76.88	66.15	4	45	48	2	3
	笠 岡	89.63	85.58	3	50	49	0	-1
	笠岡東	85.71	81.55	4	37	42	1	5
	新 見	86.76	79.41	4	18	17	2	-1
	総 社	84.43	75.61	4	42	39	6	-3
	総社吉備路	80.34	77.51	3	36	36	3	0
	高 梁	86.36	76.95	3	44	44	3	0
	玉 島	80.88	80.02	4	29	30	1	1
計(8)	83.87	77.85		301	305	18	4	

【お詫びと訂正】

月信vol.8 P.8 出席報告に誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

- 2010年12月 ・岡山南RC 会員数増減 (誤) 4 → (正) 3
 ・第10G増減計 (誤) 0 → (正) -1
 ・地区クラブ内の状況 純増 (誤) 26名 → (正) 25名

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	1月末	内女性 会 員	増減	
第7グループ	児 島	88.03	69.53	3	30	31	0	1
	児島東	88.89	86.11	3	25	24	0	-1
	倉 敷	98.31	84.77	4	78	78	0	0
	倉敷中央	88.89	87.04	3	19	18	3	-1
	倉敷東	91.06	86.18	3	43	42	3	-1
	倉敷南	96.11	66.50	3	56	66	5	10
	倉敷水島	75.53	64.50	3	34	32	0	-2
	倉敷瀬戸内	91.23	71.87	3	37	38	2	1
計(8)	89.76	77.06		322	329	13	7	
第8グループ	真 庭	82.86	75.24	3	36	36	0	0
	美 作	94.59	94.52	3	38	38	1	0
	津 山	78.45	68.68	4	87	89	3	2
	津山中央	81.00	79.00	4	26	26	2	0
	津山西	89.07	82.03	3	34	35	4	1
計(5)	85.19	79.89		221	224	10	3	
第9グループ	赤 磐	83.63	71.41	3	20	21	0	1
	備 前	84.41	78.53	4	40	42	2	2
	岡 山	86.52	66.05	4	111	111	0	0
	岡山東	92.11	83.83	4	84	85	0	1
	岡山北西	93.33	78.67	3	47	50	4	3
	岡山後楽園	85.00	72.50	4	50	50	0	0
計(6)	87.50	75.17		352	359	6	7	
第10グループ	岡山旭川	89.28	70.24	3	30	28	3	-2
	岡山中央	90.26	76.78	4	44	46	5	2
	岡山北	88.67	70.67	3	53	50	0	-3
	岡山南	91.01	72.97	3	150	154	12	4
	玉 野	86.72	74.22	4	33	32	0	-1
	牛 窓	87.50	87.50	2	8	8	0	0
計(6)	88.91	75.40		318	318	20	0	
第11グループ	岡山備南	86.44	77.60	4	35	35	4	0
	岡山城	93.75	79.17	3	31	32	5	1
	岡山岡南	87.51	78.77	3	26	27	2	1
	岡山丸の内	88.71	80.65	4	33	32	3	-1
	岡山西	89.17	70.87	4	77	78	5	1
	岡山西南	88.51	79.31	4	69	69	1	0
計(6)	89.02	77.73		271	273	20	2	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日会員数	3,091名	
1月末日会員数	3,122名	
内 女性会員数	140名	
純増	31名	
1月出席率	Make-up後	86.41%
	ホームクラブ	75.31%

国際ロータリー 第2690地区
2010-2011年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2010-2011年度 ガバナー
小林 完治

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館2F
TEL.086-221-2690 FAX.086-221-2691
E-mail : kobayashi2690@mild.ocn.ne.jp